

平成28年度  
社会福祉法人 坂東市社会福祉協議会 事業報告書

平成28年度社会福祉協議会事業につきましては、事業計画の基本方針及び重点目標に基づき、次のようなことを念頭におき事業推進に努めてまいりました。

昨今の急速な少子高齢社会、西暦2025年を見据えた団塊世代が後期高齢（75歳以上）に突入する背景、さらにはこれらに関連する人口減少の到来や生活環境の多様化などによる独居高齢者数の増加など社会福祉的諸課題は増加しており、加えて認知症患者に対し温かく地域で見守る社会的啓蒙の必要性などもボランティアの要素として継続してあげられていました。

このようなことから社会福祉協議会は、地域福祉推進の中核的位置づけのもとに、平成28年度は第2次地域福祉活動計画（5ヵ年度計画：平成28年度から平成32年度）の初年度として、基本目標の4柱「ひとづくり」「地域・ネットワークづくり」「安心な環境づくり」「社協の基盤強化」を軸とされております。特に福祉教育の充実やボランティア活動の活性化などが掲げられた理由として、福祉を一部の人だけでなく社会全体で身近なものにしていく風紀そのものが、地域福祉社会づくりを次世代に繋げる重要施策だからとも認識しております。

今後とも裾野の広い地域福祉の発展をひとつひとつ着実に積み上げることにより、市民主体の福祉構築を社会福祉協議会が先導する中で、市民最大の利益に繋がることを願い行政及び関係機関などとの連携もより一層重視しながら包括的取り組みを、今後とも継続していくこととしております。

#### 重点目標の確認

社会福祉協議会は、地域福祉の担い手としての福祉サービスの充実や、住民参加による福祉活動の取り組みを重視する中、時代の要請に応じられるサービスの安定的な提供を行うため、下記の項目を重点目標に掲げ事業推進に努めた。

#### 1. 地域福祉活動計画に基づく画期的事業の展開

社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画の重点施策（福祉教育協力校推進・ボランティアセンター事業・サロン事業・健康介護予防事業・障がい者事業・子育てサポーター事業・法人基盤強化）を展開し、幅広く市民の皆さまが参画できる福祉活動の推進に努めた。

#### 2. 関係諸団体などとの連携推進

各行政機関や福祉関係機関・団体などとの緊密な連携をするとともに、支部長連絡会を中核とした小地域ネットワークづくりとして小学校区単位の「支部事業」も、より一層活性化された。

#### 3. 広報活動及び啓発活動の充実

社会福祉協議会ホームページの運営、社会福祉協議会だより「BANDO」の定期発行、広報ばんどう「坂東いきいきニュース」シニア向け記事の毎月掲載、声の社協だよりの活用、各種事業向けの啓発活動や市広報紙（広報ばんどうお知らせ版）の活用などを実施してきた。

#### 4. 効果的事業の展開

社会福祉協議会の事業運営は、「法人運営・管理」「地域福祉事業」「受託事業」「介護保険関連事業」「障がい者総合支援関連事業」「指定管理者制度事業」「収益事業」の7分野において、基本サービスを活かしつつ住民の自立を促せる事業展開を推進してきた。